本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



CASIO

P

電波時計

2368・2740＊JA

取扱説明書

2368・2740

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

◆本機の特長◆

● 正確な時刻を表示（電波時計）

日本の標準時刻をのせた長波標準電波 JJY（40kHz）を受信して、正確な時刻を表示します。

● デイカウンター（5本）

設定日との差を自動計算して表示します。

● テレメモ

最大 20 件の名前＆電話番号を記憶します。

● アラーム（3本）

セットした時刻に電子音を鳴らすことができます。

● ワールドタイム

世界 27 都市（29 タイムゾーン）の時刻がわかります。

● ストップウオッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 まで計測できます。

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにしてお使いください。
（充電時間については、「電源について」をご参照ください）

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

パワーセービング機能について

本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をオンに設定してあります。

※パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

・表示スリープ
暗いところで本機を３～４日間放置します。

➠液晶表示が消えます。
アラーム・時報の報音は行ないます。
アナログ針は運針を継続し、自動受信も行ないます。

・機能スリープ
表示スリープのまま暗いところで４日間経過します。

➠アラーム・時報の報音は行ないません。
アナログ針は12時の位置で運針を停止し、自動受信も行ないません。

※時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押します。

※スリープ状態が解除されるまで、最大５秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のオン／オフ

パワーセービング機能を働かせなくするには 34 ページ「■セットのしかた」からの操作をご覧になり、パワーセービング機能をオフにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をオンにしておけば、節電効果があります。

目次

安全上のご注意 1

パワーセービング機能について 5

ライト点灯機能について 7

電源について 8
- バッテリーインジケーターの見方 …8
- 充電時のご注意 ……9

操作のしくみと表示の見方 10

電波時計について 12
- 電波時計とは …… 12
- 標準電波 …… 12
- 電波の受信範囲の目安 …… 13
- 使用場所について …… 13
- 受信方法について …… 14
- 自動受信のオン／オフ …… 15
- 電波タイプの切り替え …… 16
- 受信に関するご注意 …… 17
- こんなときには …… 17

デイカウンター機能の使い方 19
- セット日や日数を見る …… 19
- デイカウンターのセット …… 20
- デイカウンターの修正 …… 22

テレメモの使い方 23
- データのサーチ …… 23
- データの入力 …… 24
- データを修正する …… 26
- データを消去する …… 27

アラーム・時報の使い方 28
- アラームのセット …… 28
- アラーム・時報のオン／オフ …… 29

ストップウオッチの使い方 30
- 計測のしかた …… 30

ワールドタイムの使い方 31
- 都市のセット …… 31
- サマータイムの設定／解除 …… 32
- ワールドタイム都市一覧表 …… 33

ホームタイムデータの合わせ方 34
セット内容 …… 34
セットのしかた …… 34
アナログ部（針）の修正 …… 36
製品仕様 40
ご使用上の注意 41
お手入れについて 43
電池交換について 43

ライト点灯機能について

どのモードでもⒷボタンを押すとデジタル部が約２秒間発光し、暗いところでも表示を見ることができます。



〈注意事項〉

- ●直射日光下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光に当たるようにしてお使いください。

ご注意

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル4)、メモリーされているデータや設定データは消去されます。

■ バッテリーインジケーターの見方



レベル1		通常動作可能
レベル2		通常動作可能
レベル3		電波受信不可、アラーム・時報などの報音不可、EL 点灯不可、液晶表示不可
レベル4		時計発振不可（時計機能停止）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。
※レベル３では、アラーム・時報がONでも報音しません。電波受信も行ないません。
※レベル2にまで充電が回復すれば、電波受信を開始します。
※レベル４になっても、充電を開始すると再び使えるようになりますが、表示回復後に時刻・カレンダーを合わせてください。

●充電必要サイン

レベル3状態でインジケーターが点滅しているとき(CHARGE状態)は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

●RECOVER マークが点灯している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、RECOVER マークが点灯して、一時的に以下の操作ができなくなります。

●EL バックライトの点灯
●アラーム・時報などの報音
●運針
●電波受信

このような場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



RECOVERマーク

■充電時のご注意

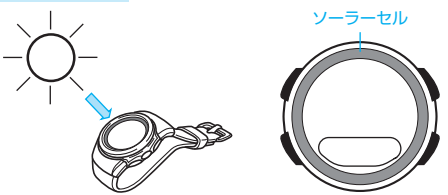
以下のような高温下での充電はお避けください。
●炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
●白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
●直射日光が長く当たって、高温になる所
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

> ⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。

例）時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても下記の条件で使用した場合に約6ヶ月動き続けます。

1日あたりの使用量
- ELバックライト：約1.5秒間
- アラーム報音：約10秒間
- 電波受信：2回

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

〈1日あたりの回復充電時間〉

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

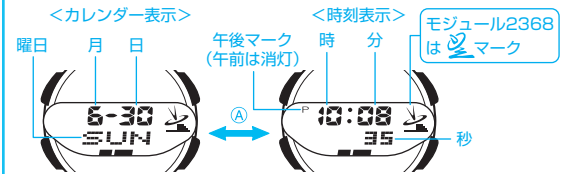
- 各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル4 ➡ レベル3	レベル3 ➡ レベル2	レベル2 ➡ レベル1
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約54分間	約14時間	約3時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約3時間	約71時間	約14時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約5時間	― ― ―	― ― ―
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約41時間	― ― ―	― ― ―

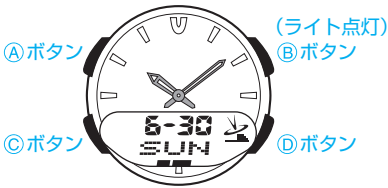
※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

操作のしくみと表示の見方 Ⓒボタンを押すごとにデジタル部が切り

時刻モード



デジタル表示はⒶボタンを押すごとに、時刻表示とカレンダー表示が切り替わります。



モジュール2740

Ⓒ

ハンドセットモード

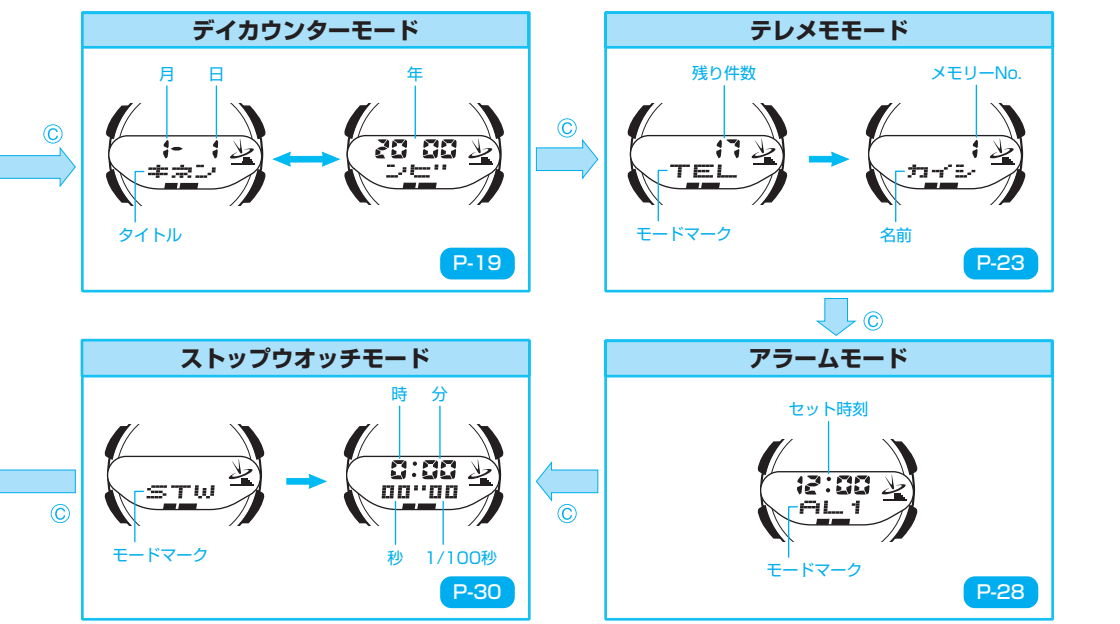


モードマーク

P-36

※ストップウオッチモード以外で何もボタン操作をせず2～3分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
※表示内容や使い方については各機能の項目をご覧ください。
※機種により形状は異なります。
※本書の表示例はモジュール2740を使用しています(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています)。

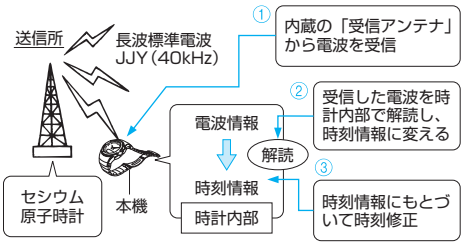
替わります。


デイカウンターモード
月
日
年
1- 1
キネン
20 00
ンセ"
タイトル
P-19
テレメモモード
残り件数
メモリーNo.
17
TEL
1
カイシ
モードマーク
名前
P-23
アラームモード
セット時刻
12:00
AL1
モードマーク
P-28
ストップウオッチモード
時
分
0:00
00'00
STW
モードマーク
秒
1/100秒
P-30
©

電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」から送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

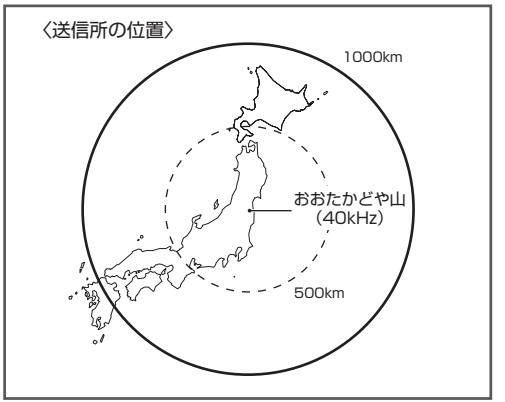
■ 電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼･夜)などによって受信できないことがあります。

※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。



■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

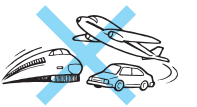
※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



ビルの中およびその周辺
(ビルの谷間など)



高圧線、架線の近く



乗り物の中
(自動車、電車、飛行機など)



家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
(テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など)



電波障害の起きるところ
(工事現場、空港のそばなど)



山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■受信方法について

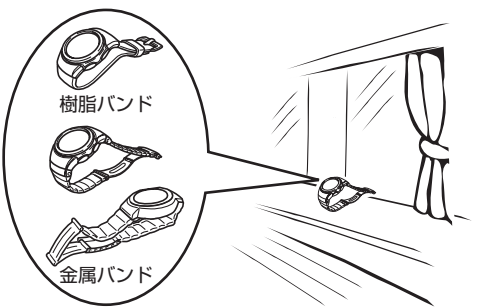
受信方法には、以下の２種類があります。

1 自動受信（午前２・４時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

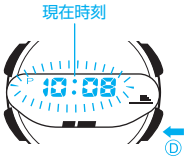
受信時間はおよそ４～11分です。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けます

確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中は時と分が点滅します。



★受信を中止するときは

Ⓓ ボタンを押します

※受信中は Ⓓ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、修正日時を表示します。

※受信マーク“ ”が点灯します。

★受信が失敗すると

時刻修正は行なわれず、手動受信のときは“ERR”を表示します。

※何も操作をしないと、１～２分後時刻モードに戻ります。

●受信インジケーター

受信中は受信状態によってインジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

- ●受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
- ●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※時刻表示に戻すには、もう一度 Ⓓ ボタンを押します。
※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードのカレンダー表示に戻ります。



RECEIPT（受信）

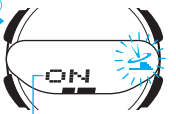
■自動受信のオン／オフ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

受信マーク“ ”が点滅します。



ONまたはOFFが表示

2. 切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。



3. 切り替えを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻モードに戻ります。

※自動受信のオン／オフで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

■電波タイプの切り替え

日本においてサマータイムが実施されたときに、標準電波のコード変更が行なわれることがあります。
本機は、コード変更が行なわれたときでも対応できるよう、２種類のタイプを切り替えることができます。
※コード変更の内容によっては、電波タイプを切り替えても正しく修正されないこともあります。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

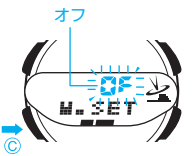
自動受信の切り替えになります。



2. 電波タイプ切り替えにする

Ⓒボタンを11回押します

オン（On）またはオフ（OF）が点滅します。



3. 切り替える

Ⓓボタンを約2秒間押し続けます

Ⓓボタンを押し続けるごとに、オンとオフが切り替わります。



4. 切り替えを終了する

Ⓐボタンを押します

時刻モードに戻ります。

※電波タイプの切り替えで表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

●サマータイムが実施されていないときは、電波タイプをオフ（OF）のままお使いください。
●サマータイムが実施されたときの電波タイプについては、カシオテクノ・サービスステーション（本書裏面に記載）にお問い合わせください。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードでのみ行なわれます。
●電波を受信するとデジタル部が先に修正され、それに連動してアナログ針部が修正されます。
アナログ針部が正しい時刻を示すためには電波受信前に必ずデジタル部とアナログ針部の時刻を合わせてください。
●受信中は、アナログ針部は動きませんので、時刻がずれていることがあります。
●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。
●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
●本機は日本で送信されている電波に合わせて設定されていますので、日本国外および日本の電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
●電波受信を行なわないときは、製品仕様に記載の精度範囲で動きます。
●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
●本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなり、カレンダーは2039年12月31日のままとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。

処置：手動受信は時刻モードで行なってください。

「自動受信ON」に設定しているのに“”マークが消えている

原因：“”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません。（毎日午前３時に消えます）
自動受信時に時刻モード以外になっていた。

処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
「受信成功」しやすい環境で使用してください。
自動受信を行なうときは、時刻モードにしておいてください。また、手動で時刻修正をすると、“”マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：サマータイム設定がONになっているか、ホームタイム都市設定が「TYO（東京）」以外になっていませんか。

処置：1時間進んでいるとき（DSTマーク点灯）はサマータイム設定がONになっています。
また、大きく違っているときはホームタイム都市設定が「TYO（東京）」以外になっている可能性があります。
サマータイム設定については32ページ、時差設定については31ページをご覧になり、正しく合わせてください。

●電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。

※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	ON	自動受信オン
電波タイプの切替	W. SET OF	オフ
ホームタイム都市	TYO	東京

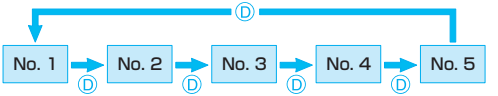
デイカウンター機能の使い方

Ⓒボタンを押して、デイカウンターモードにします。

デイカウンター機能は、タイトル（８文字）と年月日を５件セットでき、今日とセット日との差を表示します。

■セット日や日数を見る

デイカウンターモードでⒹボタンを押すごとに以下の順に表示されます。



●日数差とは

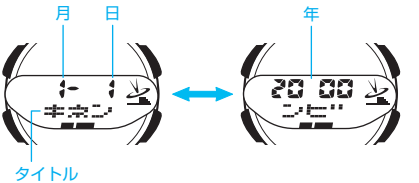
未来の予定日などを設定
➡今日からの残日数を表示
過去の記念日などを設定
➡今日までの経過日数を－（マイナス）で表示

３つのデイカウンターの中には、あらかじめ下記のデータがセットされています。

No.１：キネンビ（記念日）
No.２：イベント
No.３：タンジョウビ（誕生日）

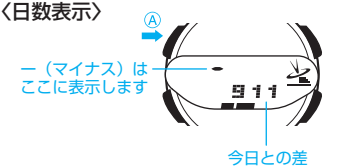
※このデータは修正することもできます。

〈タイトル表示〉



●タイトルを選ぶと約２秒後に月日と年を交互に表示します。
※タイトルが入力されていないときは、デイカウンターNo.を表示します。
●タイトルが４文字以上のときは、右から左に流れるスクロール表示になります。
●デイカウンターモードでⒶボタンを押すごとに、タイトル表示と日数表示が切り替わります。

〈日数表示〉



■ デイカウンターのセット

1. デイカウンター No. を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

文字部 1 桁目が点滅します。



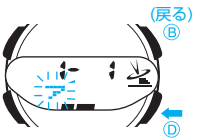
3. メッセージを入力する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“CLEAR” と表示後タイトルが消去され、セット日は今日になります。



入力文字について

- 入力文字はスペース→カタカナ（ア～ン　ア～オ　ッ　ャ～ョ　゛　゜）→アルファベット（A～Z）→数字（0～9）→記号（－．／：）の順に入力できます。
- カタカナの早送りは、ア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

押すごとに入力箇所が 1 桁ずつ右に移動します。



Ⓒ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返してタイトルを入力します。

5. 「年」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押して８文字分移動させると、「年」が点滅します。



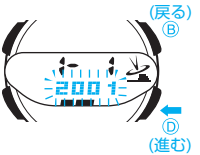
Ⓒ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返して年・月・日をセットします。

※年月日は西暦で1940年1月1日～2039年12月31日までセットできます。

6. 「年」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。



※押し続けると早送りができます。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“CLEAR”と表示後タイトルが消去され、セット日は今日になります。

8. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※デイカウンターのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、デイカウンター表示に戻ります。

7. 「月」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

「月」が点滅します。



■デイカウンターの修正

1. タイトルを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

※タイトルが入力されていないときは、デイカウンターNo.を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

文字部 1 桁目が点滅します。



3. 修正箇所を選ぶ

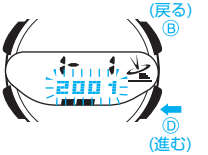
Ⓒ ボタンを押します

押すごとに点滅箇所が 1 桁ずつ右に移動します。



4. 修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“CLEAR”と表示後タイトルが消去され、セット日は今日になります。

Ⓒ ボタンを押して修正箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して修正する操作を繰り返してタイトルおよび年月日を修正します。

5. 修正を終了する

Ⓐ ボタンを押します

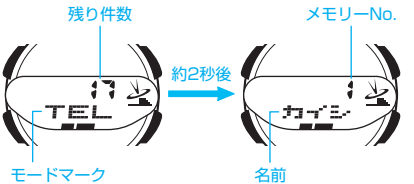
点滅が止まります。

※デイカウンターの修正で表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、デイカウンター表示に戻ります。

テレメモの使い方　© ボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモとは名前８文字、電話番号 12 桁を最大 20 件まで記憶できる機能です。
データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときも大変便利です。

テレメモモードに切り替えると、残り件数を表示後、前回見た名前が表示されます。

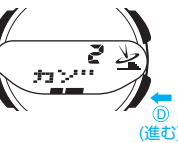


●名前が４文字以上のときは、右から左に流れるスクロール表示になります。

テレメモにはあらかじめ「カイシャ」、「カゾク」、「ジタク」（名前部のみ）がセットされています。
※このデータは修正および消去することもできます。

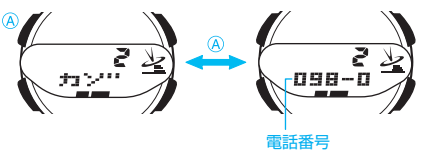
■ データのサーチ

テレメモモードで Ⓓ ボタンを押すごとに、名前順に表示されます。



※ Ⓓ ボタンは押し続けると早送りができます。
※メモリー No. はメモリーされている順番で、下記表示では２番目にメモリーされていることを表します。

名前を選んだ後、Ⓐボタンを押すごとに名前と電話番号の表示が切り替わります。



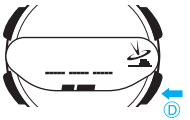
●電話番号が６桁以上のときは、下段表示が右から左に流れるスクロール表示になります。

■ データの入力

1. 新規ページを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

※新規ページは入力してあるデータの最後に表示されます。

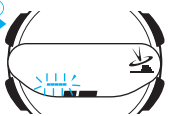


**データが20件すべて入力してあるときは、新規ページのかわりに「FULL」と表示されます。
このときは、27ページの「■データを消去する」を参照して、不要なデータを消してください。**

2. セット状態にする

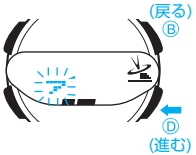
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

名前部1桁目が点滅します。



3. 名前を入力する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“CLEAR”と表示後、名前と電話番号が消去されます。

入力文字について

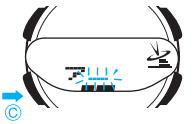
- 入力文字はスペース→カタカナ（ア～ン　ァ～ォ　ッ　ャ～ョ　゛　゜）→アルファベット（A～Z）→数字（0～9）→記号（ー．　／　：）の順に入力できます。
- カタカナの早送りは、ア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

押すごとに入力箇所が1桁ずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。

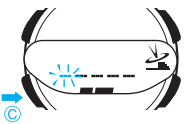


Ⓒ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返して名前を入力します。

5. 電話番号の入力に切り替える

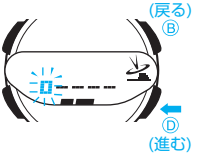
Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押して８文字分移動させると、電話番号部１桁目が点滅します。



6. 電話番号をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“CLEAR”と表示後、名前と電話番号が消去されます。

電話番号も同様に Ⓒ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返して入力します。

7. 入力を終了する

Ⓐ ボタンを押します

名前順に並び替え（“SORT”点滅）後、名前を表示します。

続けて入力するときは、手順１からを繰り返します。

※テレメモの入力で表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

■ データを修正する

1. 修正データを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

名前部 1 桁目が点滅します。



3. 修正箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

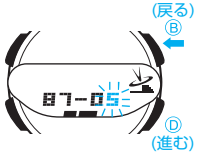
押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。



4. 修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“CLEAR”と表示後、名前と電話番号が消去されます。

Ⓒ ボタンを押して修正箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して修正する操作を繰り返して名前および電話番号を修正します。

5. 修正を終了する

Ⓐ ボタンを押します

並び替え（“SORT”点滅）後、名前を表示します。

※テレメモの修正で表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

■ データを消去する

1. 消去データを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

名前部 1 桁目が点滅します。

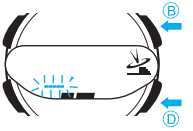


3. データを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

“CLEAR”と表示後、名前と電話番号が同時に消去されます。

※消去後、新たなデータが入力できます。



4. 消去を終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※テレメモの消去で表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

アラーム・時報の使い方　Ⓒボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると 10 秒間の電子音で知らせてくれます。
アラームは 3 本あり、いずれも同じ使い方ができます。
また、毎正時（00 分）にピッピッと電子音で時報を鳴らすこともできます。

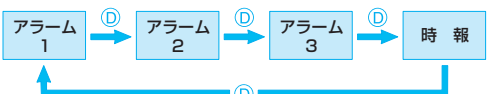
■ アラームのセット

1. アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに、以下の順に切り替わります。





2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

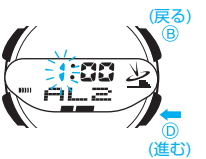
「時」が点滅します。
※アラームONマークが点灯します。



3.「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

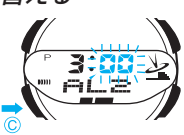


※押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後にご注意ください。
※基本時刻を 24 時間制表示にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制表示となります。

4.「分」のセットに切り替える

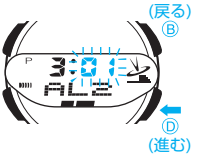
Ⓒ ボタンを押します

「分」が点滅します。



5. 「分」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

6. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※アラームのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、アラーム表示に戻ります。

●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

●デモアラーム

アラームモードでⒹボタンを押している間、電子音が鳴ります。

■アラーム・時報のオン／オフ

1. アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します



2. 切り替える

Ⓐ ボタンを押します

押すごとにアラームまたは時報のオンとオフが切り替わります。

<アラーム>



<時報>



ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

■計測のしかた

- Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。
- 計測がストップしているときにⒶボタンを押すと、0時間00分00秒00（リセット表示）になります。
- 計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム（途中経過時間）計測となります。



●通常の計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞

ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●1着・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

ワールドタイムの使い方　以下の操作は、時刻モードで行ないます。

ワールドタイムは世界27都市（29タイムゾーン）の時刻に切り替えることができる機能です。

都市を切り替えると、アナログ部の針も自動的に同じ時刻に修正されます。
※針の時刻修正は、時差によって時間がかかります。

■都市のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

自動受信の切り替えになります。



ONまたはOFFが表示

2. ホームタイム都市設定に切り替える

Ⓒ ボタンを1回押します

都市コードが点滅します。



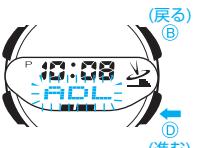
都市コード

3. 切り替える

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。



4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まり、アナログ部の針も修正されます。

※ホームタイム都市のセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

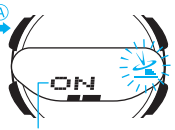
■ サマータイムの設定／解除

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

自動受信の切り替えになります。

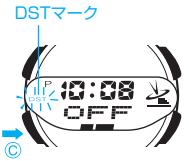


ONまたはOFFが表示

2. サマータイム切り替えにする

Ⓒ ボタンを２回押します

“DST” マークが点滅します。



3. 切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとにONとOFFが切り替わります。



4. 切り替えを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

※サマータイムの設定／解除の切り替えで表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から１時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ ワールドタイム都市一覧表

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
― ― ―		−11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、
HNL	ホノルル	−10	パペーテ	JRS	エルサレム		ベイルート
ANC	アンカレジ	−9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+3.5	
				DXB	ドバイ	+4	アブダビ
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン	KBL	カブール	+4.5	
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ	KHI	カラチ	+5	
				DEL	デリー	+5.5	
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン	DAC	ダッカ	+6	
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
― ― ―		−2					
― ― ―		−1	アゾレス諸島	TYO	東京	+9	ソウル、平壌
GMT		±0	＜グリニッジ標準時＞	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	±0	ダブリン	SYD	シドニー	+10	グアム
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

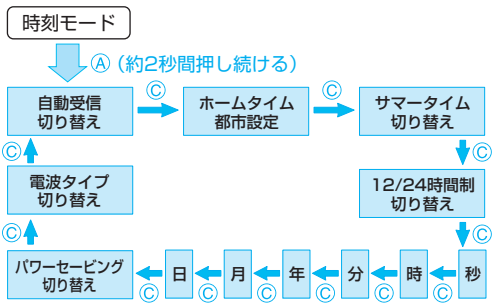
※この表は2002年6月現在作成のものです。
※時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。
なお、時刻とカレンダーは、「自動受信オン」にしておくと自動的に正しく修正されますので、通常は修正する必要ありません。電波受信ができないときや、「自動受信オフ」にしてあるときなどは、ここで説明する操作にしたがって合わせてください。

デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

■ セット内容



※時刻モードの表示に戻すには、もう一度Ⓐボタンを押します。
※自動受信切り替えについては 15 ページを、電波タイプ切り替えについては 16 ページをご覧ください。

■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

受信マーク“ ”が点滅します。



ONまたはOFFが表示

2. 切り替える

Ⓒ ボタンを押します

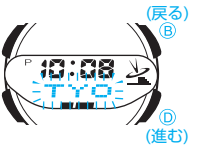
Ⓒボタンを押すごとに、セット箇所（点滅箇所）が左図の順に移動します。



都市コード

3. セットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓒ ボタンを押してセットしたい箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※自動受信切り替え、サマータイム切り替え、パワーセービング切り替えは、Ⓓ ボタンを押すごとにONとOFFが切り替わります。
※12/24時間制切り替えは、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。
※ホームタイム都市設定は、33ページの表の順に Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※秒合わせは、Ⓓ ボタンを押すと「秒」が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」からスタートします。
※「時」のセットのとき、午前／午後(P)および24時間制にご注意ください。
※「年月日」は西暦で2000年1月1日～2039年12月31日までセットできます。
※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻モードに戻ります。

※ホームタイムデータのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

〈シンクロ機能〉

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ針部の針も連動して修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて送り（正転方向）または戻し（逆転方向）されます。
※針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

■アナログ部（針）の修正…Ⓒ ボタンを押してハンドセットモードにします。

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

時・分が点滅します。



2. アナログ部を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻りますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※押し続けると早送りができます。



針の自動送り

- **Ⓓ ボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。**
- **Ⓑ ボタンを押し続けて早送り中にⒹボタンを押すと、ボタンを離しても針が戻り続けます。**
- **自動送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。**

3. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。


memo


memo

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：電波受信による時刻修正が行なえない場合は、平均月差±15秒以内

基本機能：アナログ部＝時・分（2針）
デジタル部＝月・日・曜日・時・分・秒・午前／午後(P)／24時間制表示
フルオートカレンダー(2000～2039年)

電波時計機能：自動受信(午前2・4時)、手動受信、
受信日時リコール付、
受信オン／オフ切替、
電波タイプ切替

受信電波＝長波標準電波 JJY
周波数＝40kHz

アラーム機能：時刻アラーム3本
セット単位＝分　電子音＝10秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時

デイカウンター機能：タイトル（8文字）、
年月日を5本メモリー
設定範囲＝1940～2039年
今日と設定日との差を表示

ワールドタイム機能：27都市29タイムゾーン
時・分・秒（秒は基本時刻と連動）
サマータイム切替機能付

テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を最大20件までメモリー
自動ソート機能

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
通常計測、積算計測、スプリット計測

セット機能：時刻・カレンダーセット機能、
秒合わせ機能（±30秒アジャスト）、
ホームタイム都市設定、
サマータイム切替、
アラームセット機能

その他：自動復帰機能、デモアラーム、
12/24時間制表示切替、
ELバックライト、パワーセービング機能、バッテリーインジケーター表示

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：CTL1616（電池別途販売）
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

持続時間：光を当てないで1日当たり、自動受信を2回、電子音10秒間、ライト1.5秒使用した場合。
…フル充電からレベル3になるまで、約6ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR 無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●二次電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ／進みが生じることがあります。

■静電気

●極度の静電気により誤った時刻を表示したり、電子部品が破損する場合があります。
●静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用としている EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■データ保護について

二次電池切れや二次電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・二次電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあり ます。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

●通常の日常生活でソーラーセルが受ける光により二次電池は充電されますので、二次電池の交換は必要ありません。
ただし、長年の充電と放電（特に完全放電）の繰り返しにより性能が落ちて充電に時間が長くかかるときは、お買い上げ店または、カシオテクノ・サービスステーションに二次電池の交換をお申し付けください。
●本機は、ソーラーセルから電力を二次電池へ充電する回路を備えていますので、専用の二次電池（CTL1616）以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。専用の二次電池（CTL1616）以外の電池は絶対に入れないでください。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）
●電池交換後はデイカウンター、テレメモのデータは消去され、プリセットされている内容が書き込まれます。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

カシオ計算機株式会社

MA0307-B